

ナンバリング	B⑥01	科目名	専門総合演習 「遊びと環境について考えるⅠ」		担当教員	由田 新	
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・③・④		担当形態	単独			
テキスト	資料を適宜用意します。			単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	前期
<p><b>講義概要</b></p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の解決すべき課題を見つけることができる。</li> <li>・あそびと「保育環境」についての基本的な理解をもち、説明できる。</li> <li>・保育者として物的環境を整え、人的環境としてはたらくことについて理解し、説明できる。</li> </ul> <p>■授業の概要</p> <p>これまで皆さんが学んできたように、今日の幼児教育・保育の基本的な考え方は「環境を通して行う教育（保育）」と呼ばれています。これは、幼児の自主性・主体性を大切にしようとする考え方で、幼児自身が周りの世界（環境）に働きかけて生み出す活動（遊び）を重視しています。この考え方にたつと、保育者にとって重要なことは、まず幼児がかかわる「環境」をどのようにつくるかということになります。保育者は保育の第一歩として幼児への願いや思いを「環境」に込めるのです。実際の園の「環境」はどのようなものでしょうか、そして、幼児の遊びが育つような「環境」はどのようなものでしょうか。考えていきましょう。前期終了までに、自分で解決すべき課題を見つけ、後期の学びにつなげます。</p> <p>受講者同士の話し合いを重視します。授業時間外の活動もありますので、それも含めて積極的に取り組む姿勢をもつことを望みます。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 あそびとは何か？ あそびについて、これまでの体験から振り返る</p> <p>第2回 プレーパーク見学</p> <p>第3回 プレーパーク見学の振り返り</p> <p>第4回 「環境」のありようと人間の行動の関係</p> <p>第5回 子育てと環境</p> <p>第6回 幼児にとっての園環境を考える</p> <p>第7回 物的環境について考える①</p> <p>第8回 物的環境について考える②</p> <p>第9回 人的環境について考える①</p> <p>第10回 人的環境について考える②</p> <p>第11回 実習園の保育環境について考える①</p> <p>第12回 実習園の保育環境について考える②</p> <p>第13回 環境を保育の方法として利用するとは？</p> <p>第14回 保育者の援助としての環境構成</p> <p>第15回 後期へ向けて一自己課題の設定</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に際し、指定された資料を読み、考えをまとめてくること。</li> <li>・フィールドに出た際に、子どもの遊びへのかかわりのエピソードをまとめてくること。</li> <li>・授業後に、その日の学びを整理すること。</li> </ul> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワークの状況 — 20%</li> <li>・授業内での話し合いでの発言内容・授業内のレポート — 40%</li> <li>・課題レポート — 40%</li> </ul>							
参考文献	「演習 保育内容総論 子どもの生活・環境・遊びに向き合う」萌文書林 「保育の基本と工夫。*環境とカリキュラムを考える*」スペース新社 「遊びを中心とした保育」萌文書林 「子どもも保育者も笑顔になる！ 遊び保育のための実践ワーク」萌文書林			特記事項	フィールドワークにかかる費用等は個人負担となります。 【課題等へのフィードバック方法】 レポート等には、必要に応じてコメントを書き加え返却します。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修			幼保			
実務経験のある教員等による授業内容							